

サイバー法の未来 ーサイバー領域の拡大ー

普通 concepts

- サイバー法 (Cyber Law or Cyberspace Law)
 - Lawrence Lessig, The Law of the Horse: What Cyberlaw might teach, 113 Harv. L. Rev. 501 (1999)
 - As is often the case when my then-colleague speaks, the intervention, though brilliant, produced an awkward silence, some polite applause, and then quick passage to the next speaker. It was an interesting thought — that this conference was as significant as a conference on the law of the horse. (An anxious student sitting behind me whispered that he had never heard of the “law of the horse.”) But it did not seem a very helpful thought, two hours into this day-long conference. So marked as unhelpful, it was quickly put away. Talk shifted in the balance of the day, and in the balance of the contributions, to the idea that either the law of the horse was significant after all, or the law of cyberspace was something more.
- インターネット法 (Internet Law)
 - Chris Reed, Internet Law: Text and Materials 2nd Edition, Cambridge University Press (2004)
- 新たな問題の研究
 - Luciano Floridi, the 4th Revolution: How the Information is Reshaping Human Reality, Oxford University Press (2014)
- その他
 - 「メディア法 (Media Law)」や「通信法 (Telecommunication Law)」という非常に限られた技術的領域をサイバー法 (Cyber Law) または情報法 (Information Law) と誤解または詐称している例がある。

研究方法

- 基礎概念

- 思考作業のために依拠する過去の概念(夏井の場合の例)

- サイバネティクス ウィーナー(Norbert Wiener)
- 情報社会論 トフラー(Alvin Toffler)
- プライバシー論 プロッサー(William L. Prosser)

- 思考作業のために依拠することのできる概念がない場合 → 新たな学説の提案

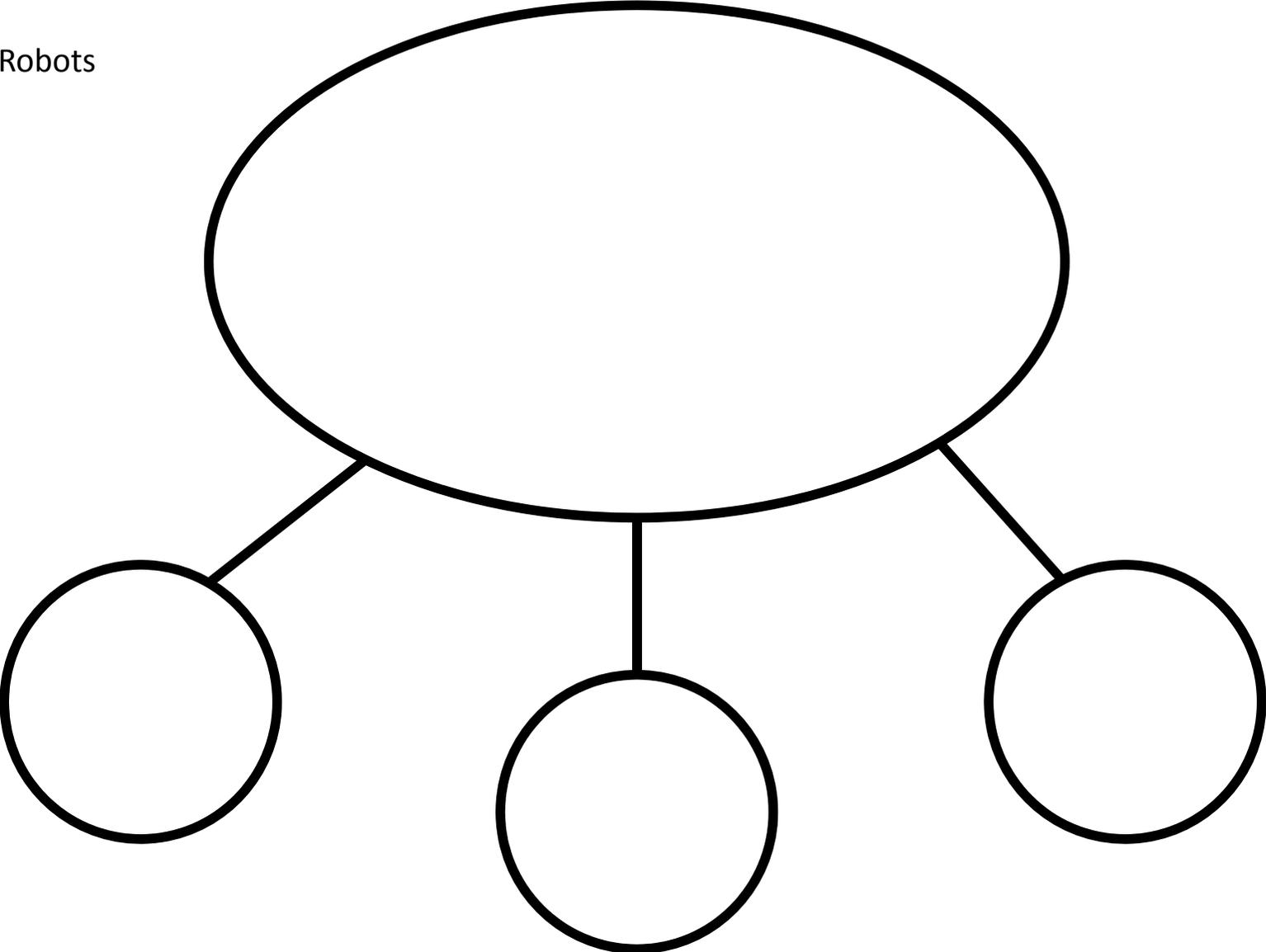
- 独自の考察

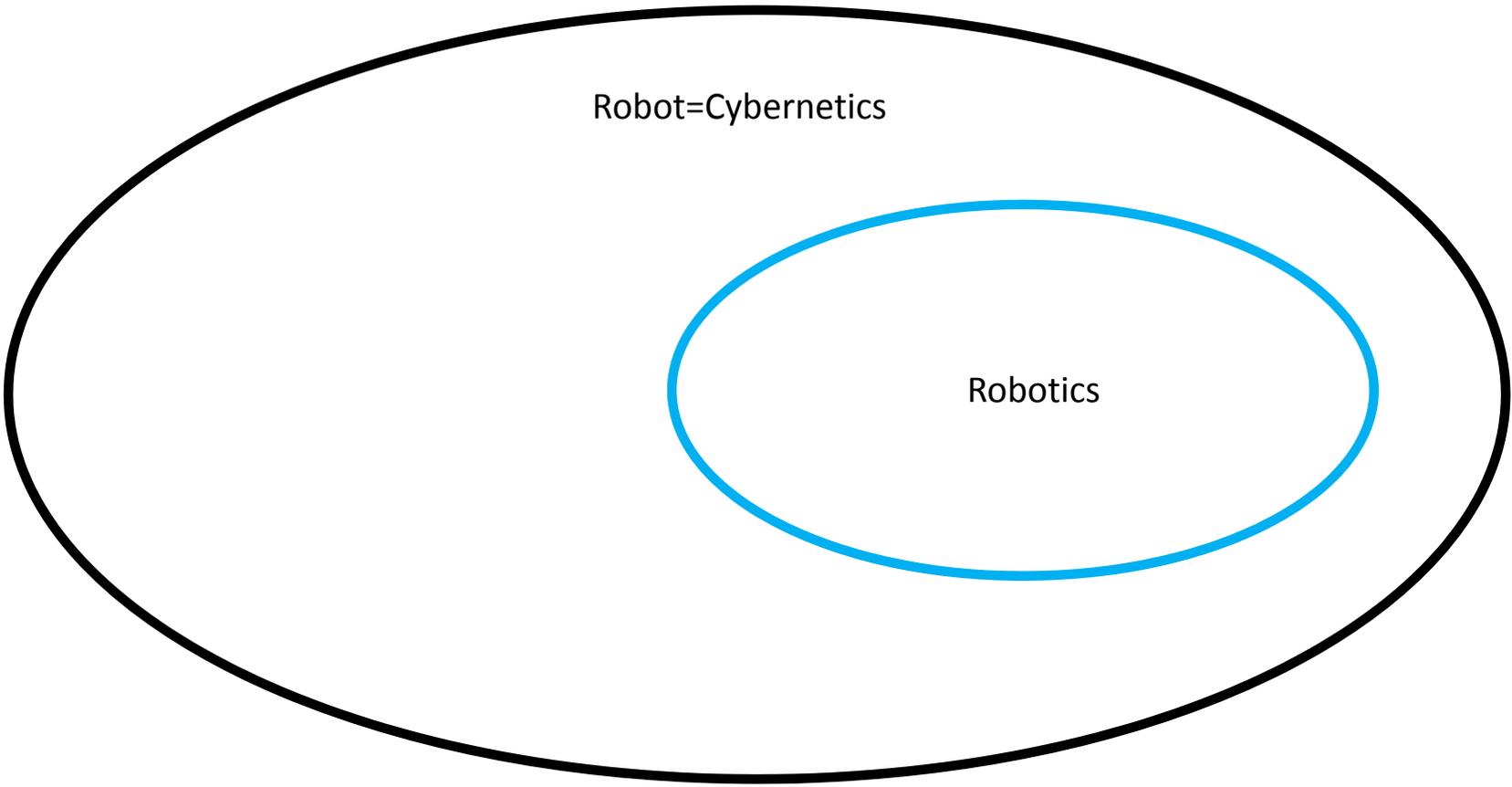
- 哲学
- 一次資料

- 一次資料の精査

- 法令
- 法学文献
- 背景となる歴史や関連諸科学における知見を認識・理解するための資料

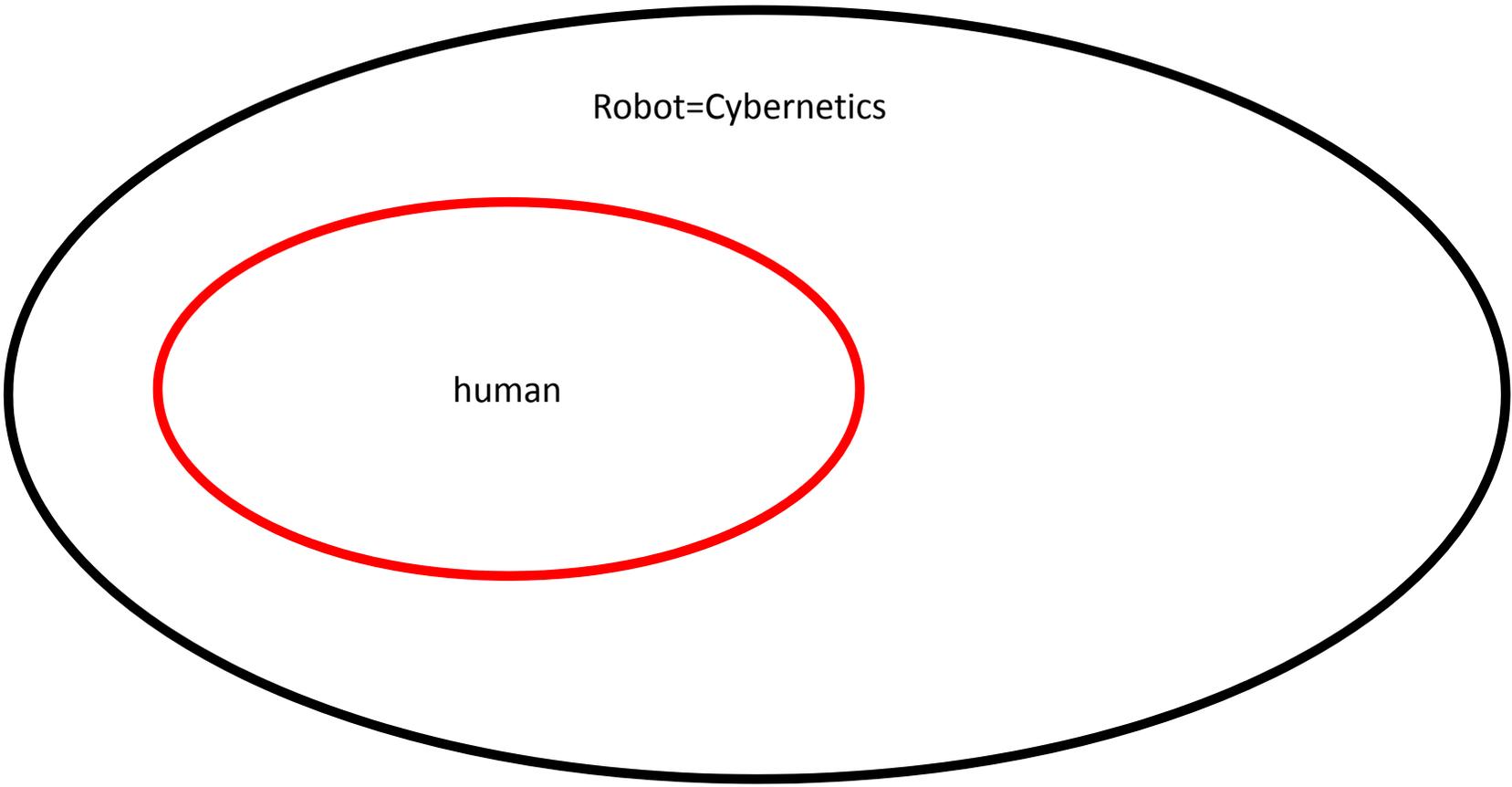
Conception of Robots





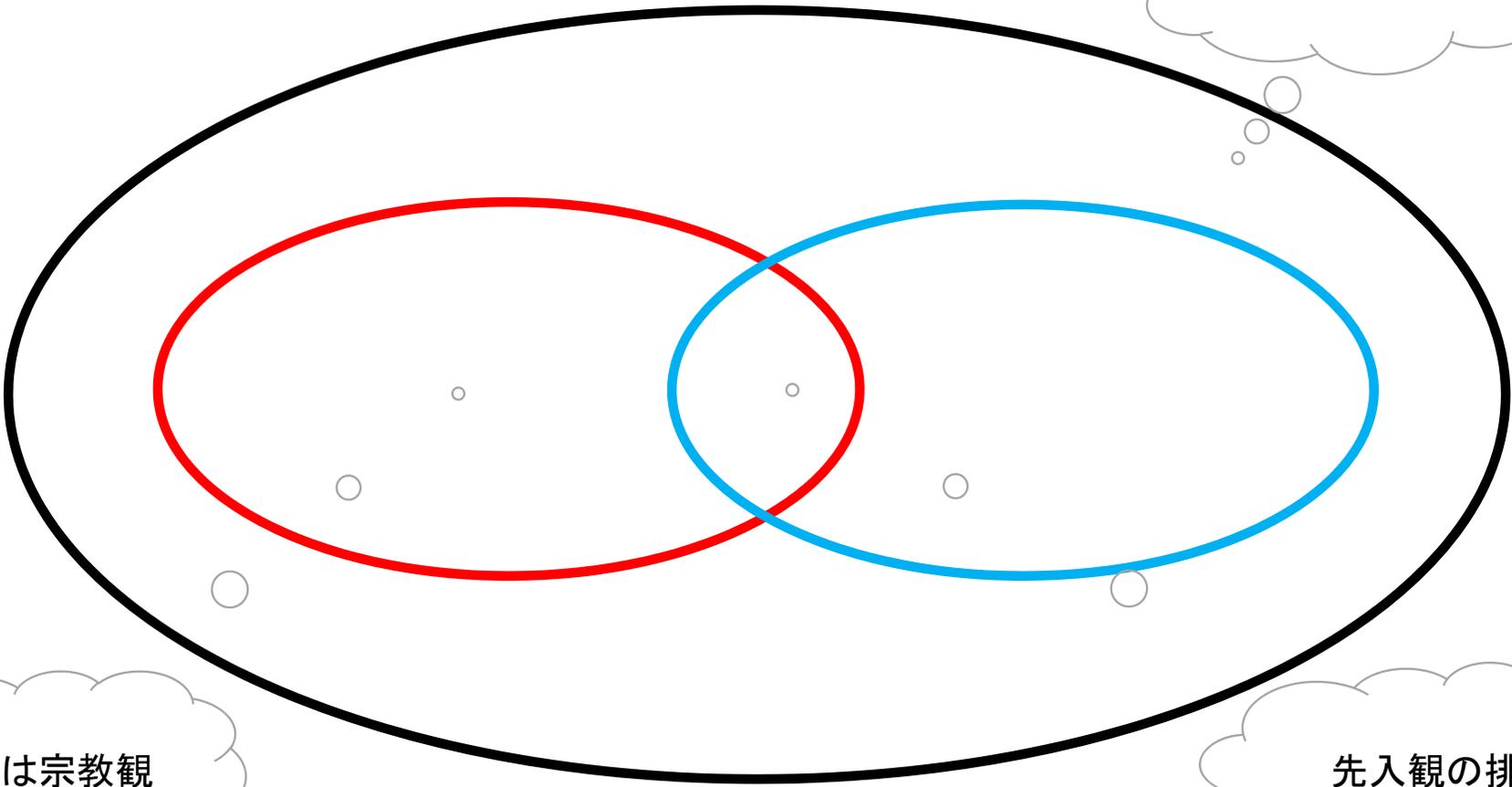
Robot=Cybernetics

Robotics



Robot=Cybernetics

human



Cyberneticsの定義

哲学または宗教観

先入観の排除

理解

- Cyberspace Law ではなくCybernetics Lawとしてとらえると・・・
 - 生物と非生物(機械装置)との間に境界はない
 - 対象領域は非常に広い
 - しかし, 関連する諸科学(生物学, 工学etc...)が極端に広がる
 - けれども, 研究に参加可能な研究者の広がりも絶大

- Cyberspace Law に限定しても

- クラウドの普及により物理的場所(地理的場所)が希薄化している
- IoTの普及により, 考察すべき対象が異常に拡大している
- リモート操作可能な心臓ペースメーカー等による人間のサイボーグ化(ネットの構成要素化)が急速に発展している
- 人間が介在しない契約処理等の自動処理及び履行が進展している
- 全体として, 人間の「法主体性」または「人間の尊厳」を重視しなくなってきた

→ 処理主義への移行

大事なことは

- イドラ (Francis Bacon) を理解すること
- 「樹を見て森を見ない」の愚を避けること
- 「自分だけは例外」という根拠のない信念を捨てること
- 「権威」と「真理」とは無関係であるという前提で考えること
- そして、他人の理解に依存するのではなく、自分で理解すること

例

- [設問]
 - 個人データの処理は、それ自体として、違法行為か適法行為か？
- [比較法]
 - 欧州連合の法制(デフォルトは悪)と日本国の法制(性善説)とは正反対
 - ※ デフォルトは悪=原則として、他人に対する迷惑行為または公害の一種
- [法情報学]
 - 一次資料の徹底的な精査・検討
- [法哲学]
 - メタ価値観の発見
- [法解釈学]
 - 軸足の再確認

参考資料

- 配布資料(部数限定)

- 法と情報雑誌第1巻第2号
- 法と情報雑誌第1巻第3号
- 法と情報雑誌第1巻第5号
- 「サイバー犯罪の研究(九)」法律論叢89巻1号

- 非配布資料

- 『ネットワーク社会の文化と法』(日本評論社, 1997)